

# 平成24事業年度に係る業務の実績 に関する報告書（概要）について

---

平成25年6月28日

国立大学法人山形大学

# 全体的な状況

---

第2期中期目標・中期計画期間の3年目にあたる平成24年度は、「何よりも学生を大切にする大学」を目指し、教育及び学生支援に重点を置いた取組を推進するとともに、山形大学の特色を活かした優れた研究の育成及び地域や社会との活発な連携活動に取り組んだ。

＜平成24事業年度計画の実施状況＞

◎ 75項目すべて達成済み

そのうち、次の点においては、平成24年度の年度計画を上回って達成されたものである。

①「スタートアップ・セミナー」共通テキスト『なせば成る！』の改訂

(本資料2ページ 年度計画No.2)

②「山形大学の学士課程教育に係るアドバイザリーボード」の設置

及び教育ディレクターの設置(基盤教育及び各学部)(本資料2ページ 年度計画No.3)

③「アドバンスセミナー」の開設準備(本資料2ページ 年度計画No.4)

④メディカルスキルアップラボラトリーの活用(本資料10ページ 年度計画No.40)

⑤調達業務見直しのための取組(本資料15ページ 年度計画No.63)

# 1. 教育研究等の質の向上の状況

## 1 教育に関する取組

### (1) 基盤教育の充実

- ① 「アドバンスセミナー」の開設  
…基盤教育評価改善会議の点検・評価を受けて平成25年度後期から開設
- ② 「スタートアップ・セミナー」共通テキスト『なせば成る！』の改訂  
…アンケート調査での要望を参考に実施

### (2) 教育方法等の改善

- ① 「山形大学の学士課程教育に係るアドバイザリーボード」の設置  
…学位授与方針等について点検し、教育の更なる改革や助言等を行う組織
- ② 教育ディレクターの設置(基盤教育及び各学部)  
…カリキュラムの点検・評価体制を確立するために、カリキュラム編成の責任者として平成25年度から設置
- ③ 基盤教育実施体制の充実  
…専任教員が基盤教育の実施運営業務、評価点検業務を実施
- ④ 基盤教育科目に関するアンケートを踏まえた改善  
…「アドバンスセミナー」の開設準備、スタートアップセミナー副教材の活用推進
- ⑤ 博士課程教育リーディングプログラムに採択(工学部)  
…有機材料に関する5年一貫教育のドクターコースを平成25年度から開設

# 1. 教育研究等の質の向上の状況

## 1 教育に関する取組

### (3) 学生支援の充実

- ① アドミニストレイティブ・アシスタントの活用  
…スタートアップセミナーでの学習支援、学習相談、レポート作成や文献検索のガイダンス等を実施
- ② 各種奨学金による支援  
…本学独自の以下の奨学金を継続実施  
「山形俊才育成プロジェクト(山澤進奨学金)」、「山形大学エリアキャンパスもがみ土田秀也奨学金」、「山形大学 YU Do Best 奨学金」、「山形大学学生支援基金奨学金」、「山形大学被災学生支援奨学金」
- ③ 学生メンタルケアの充実  
…○各キャンパスにカウンセラーを配置(小白川4人、医学部1人、工学部3人、農学部1人)  
○動物や自然との触れ合いを体験する「リフレッシュセミナー」を実施
- ④ 学生及び学生団体への表彰の実施  
…学業又は課外活動において優秀な成績を修めた学生(10人)及び学生団体(10人5団体)を表彰

# 1. 教育研究等の質の向上の状況

## 1 教育に関する取組

### (4) キャリア教育・就職支援の充実

① キャリア教育授業科目の開講

…「キャリアデザイン」に前期73人、後期258人の履修登録

② 外部機関の協力による就職支援

…面接対策、エントリーシート添削等の支援(山形労働局、山形県若者就職支援センターの協力)

③ 全学及び各学部の就職支援

…○全学:学長及び担当副学長による企業訪問(合計45社)

合同企業説明会(学部4年生、大学院2年生を対象に2回開催、参加企業106社、参加者200名超)

就職ハンドブック作成(学部3年生及び大学院1年生に配付)

○各学部:就職セミナー、OB・OGと語る会(企業研究会)等の開催、就職関連情報の周知



「キャリアデザイン」の授業風景

# 1. 教育研究等の質の向上の状況

## 2 研究に関する取組

### (1) 先進的研究の推進

- ① YU-COE(S)「山形大学先進的研究拠点」の成果(合計4,000万円を継続支援)
  - …○分子疫学:コホート研究の協力者数14,000人超  
研究推進のための体制整備(日本多施設共同コホート研究(J-MICC)等と協定締結)
  - 有機エレクトロニクス:有機エレクトロニクス研究センターでの研究が本格的に開始  
有機エレクトロニクスイノベーションセンターの開設準備(H25.4.1開設)  
国際科学イノベーション拠点に採択(平成24年度補正予算)
  - 総合スピン科学:核子スピンに関する研究推進(欧州原子核研究機構(CERN)に研究者2人派遣)
  
- ② YU-COE(E)「萌芽的研究グループ」に対する支援
  - …14拠点(継続8、新規6)に対し、合計4,500万円を支援
  
- ③ 重粒子線による最先端がん治療施設の整備に向けた取組
  - …○「山形大学重粒子線がん治療施設設置準備室」の設置
  - 粒子線コンソーシアムの創設(東北地方の粒子線治療をマネージ)
  - 第1回東北粒子線コンソーシアム会議の開催(粒子線治療の在り方を議論)
  - 次世代型重粒子線がん治療装置の技術開発及び広域医療ネットワークを活用した患者情報管理の基盤技術開発(平成24年度補正予算)

# 1. 教育研究等の質の向上の状況

## 2 研究に関する取組

### (1) 先進的研究の推進

- ④ 「3ギガエレクトロンボルト級放射光施設」の建設に向けた取組
  - …○「山形大学放射光施設構想検討会」を組織
    - 「東北放射光施設推進会議(東北地区7国立大学長で構成)」及び「東北放射光施設専門委員会(東北地区7国立大学等の研究者で構成)」を設置
- ⑤ 学部横断的な研究活動の推進
  - …○理工学研究セミナー(理学部・工学部)
    - 無機化学系研究室交流セミナー(理学部・工学部)
    - バーチャル研究所における研究活動(理学部・農学部等)
    - 有機ELの医療分野への応用についての情報交換(医学部・工学部)
    - 医学部・工学部双方の教員の意見交換の場として「iYMET Forum」の設置(医学部・工学部)
- ⑥ 人文学部附属ナスカ研究所の設置
  - …「ナスカの地上絵の分布図作成と保全」、  
「アンデス文明の盛衰と環境の関係の解明」等の研究



人文学部附属ナスカ研究所

# 1. 教育研究等の質の向上の状況

## 2 研究に関する取組

### (2) 地域に根ざした研究、社会に貢献する研究の推進

- ① 東北創生研究所キックオフ・シンポジウムの開催(約150人の参加)
  - …○「社会創生」「産業構造」「食料生産」の3研究部門の研究概要について紹介
  - 研究対象となるモデル地区の選定

### (3) 研究支援の充実

- ① 科学研究費補助金ステップアップ支援制度の充実
  - …従来の基盤研究(B)に加え、基盤研究(A)へのステップアップ支援を新規に創設
- ② テニユア・トラック制度の展開
  - …工学部、理学部、農学部に続き、医学部にテニユア・トラック教員を3人採用  
(「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」で1人、「テニユア・トラック普及・定着事業」で2人)
- ③ 若手研究者の海外派遣の推進(日本学術振興会のプログラム)
  - …○「頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム」でペルーに大学院生2人を派遣  
(人文学部)
  - 「頭脳循環を活性化する若手研究者海外派遣プログラム」で欧州原子核研究機構(CERN)に  
研究者2人を派遣(理学部)
  - 「頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム」で英国に大学院生2人を派遣  
(医学部)



# 1. 教育研究等の質の向上の状況

## 3 社会連携及び国際交流に関する取組

### (1) 社会連携の推進

- ① 連携・協定関係にある大学との協働の推進
  - …○南東北大学連携研究会(福島・宮城教育・山形)による「災害復興学」の授業開講
  - 立命館大学との交流事業による学生交流の活性化
  
- ② アフィニス夏の音楽祭2012山形への参加
  - …大学院生が企画・運営する「音楽交流プログラム」を県内各所で開催
  
- ③ 地域社会の振興・発展への貢献
  - …○「プリントド・エレクトロニクス」の先端技術を、参加企業と共有し、迅速な製品開発や実用化を図る「ナノメタルスクール」の発足(理学部)
  - 「在宅医療・在宅看護教育センター」の設置に向け、医師や看護師を対象とした独自の教育カリキュラムを準備(医学部)
  
- ④ 「山形県民シンポジウム」の開催
  - …県内4地域(村山・置賜・庄内・最上)の課題についての情報交換、人材育成等に関する協議を実施

# 1. 教育研究等の質の向上の状況

## 3 社会連携及び国際交流に関する取組

### (2) 国際交流の推進

① 学生のグローバル意識の涵養

…基盤教育において「グローバル社会に生きる君達へー海外に行き、海外を知り、海外で活躍するー」を開講

② 国際交流協定の締結

…大学間交流協定 10大学 学部間交流協定 10大学

③ 研究者の海外派遣

…○YU海外グローイングアッププログラムで教員3人  
○小嶋国際学術交流基金で教員4人、大学院生1人

④ 文部科学省「留学生交流拠点整備事業」への採択

…留学生と地域との交流等による地域社会の活性化、留学生の受入拡大を企画

⑤ 各学部における取組

…○韓国、中国、イタリア、ロシア、モンゴル等からの研究者、留学生等の受入  
○県内各地の国際交流協会等と連携した国際交流イベント等の実施



「留学生交流拠点整備事業」による留学生受入

# 1. 教育研究等の質の向上の状況

## 4 附属病院に関する取組

### (1) 教育・研究面

#### ① 教育

- 生涯教育セミナーの開催・・・医療従事者を対象に開催
- メディカルスキルアップラボラトリーの活用
  - ・・・AHABLSヘルスケアプロバイダーコース及びAHACLSプロバイダーコースの開催
- 医学部専修コース及び卒後臨床研修プログラムによる教育
  - ・・・医学部専修コースの在籍者数12人(外科5人、小児科4人、産婦人科2人、救急医学1人)
  - 卒後臨床研修プログラムのマッチ者数22人(東北6県で7年連続トップのマッチ者数)
- 看護師リフレッシュ研修の実施・・・34人が受講

#### ② 研究

- グローバルCOEプログラムでの取組・・・寒河江市において新規コホートを設置
- 「東北がんプロフェッショナル養成推進プラン」事業(4大学)を開始
  - ・・・同事業のため設置した「東北未来がん医療学講座」による各種セミナー、シンポジウムを開催
- 高度先進医療推進プロジェクトチームの設置
  - ・・・小児科において「急性リンパ性白血細胞の免疫遺伝子再構築を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定」の先進医療診療を開始
- トランスレーショナル・リサーチの一例
  - ・・・糖尿病治療薬メトホルミンが悪性脳腫瘍の再発原因とされる「がん幹細胞」を「再発しないがん細胞」に変えるメカニズムを初めて実証(医学部腫瘍分子医科学講座)

# 1. 教育研究等の質の向上の状況

## 4 附属病院に関する取組

### (2) 診療面

○高度化する救急医療への対応

・・・救急部、手術部及び医学部がんセンターの機能強化を推進

救急救命士実習の実施

手術支援ロボット「ダビンチ・サージカルシステム」の導入

(手術実績17件)

○周産期医療情報ネットワークの整備・運用

・・・県内医療機関とのIT化による情報連携の実施

○安全な医療サービスの提供

・・・周産母子センター(分娩部、NICU)が産科及び小児科の連携を推進

NICU(6床)において重篤な新生児を受入(3月末現在の稼働率92.2%、1日あたり5.5人)



手術支援ロボット「ダビンチ・サージカルシステム」

### (3) 運営面

○災害時への対応

・・・「医学部災害対策マニュアル」の改訂

国民保護共同実動訓練に参加し、被災者受入及び医療救護の拠点としての訓練を実施

# 1. 教育研究等の質の向上の状況

## 5 附属学校に関する取組

### (1) 教育研究活動の充実

- ① 幼児児童に対するきめ細かな教育
  - …特別支援教育コーディネータ、メンタルケア・コーディネータの活動の推進及び「まつなみ学習支援室」の設置
- ② 教育実習の円滑な実施
  - …「附属学校教育実習委員会」を中心に258人の教育実習を実施(附属中学校121人、公立中学校31校137人)
- ③ 附属学校園間の連携強化
  - …「附属学校連携の日」において合同研修、公開授業研究会を実施



教育実習の様子(上下)

## 2. 業務運営・財務内容等の状況

### 1 業務運営の改善及び効率化

#### (1) 戦略的な大学経営の推進

- ① 「結城プラン2013」の策定・公表（「結城プラン2012」の達成率は85%）  
・・・教職員等に冊子で配布し、ホームページに掲載
- ② 「第2期中期目標・中期計画ハンドブック」の作成  
・・・第2期中期目標・中期計画のミッションを教職員が共有するために作成・配布
- ③ 学外有識者による顧問会議の開催(年2回)
- ④ 部局の教育研究の質の向上及び運営の活性化  
・・・基盤教育院を加えた8部局を対象に組織評価(部局年度業績評価)を実施し、  
評価結果に応じてインセンティブ経費(総額4,000万円)を配分

#### (2) 職員の研修について

- ① 自己啓発支援プロジェクト研修の実施  
・・・職員の自発的な発案に基づく15件の事業を採択・実施

#### (3) 教育研究体制の整備・充実

- ① 人文学部・・・人間文化学科のコースを再編し、グローバル文化学コースの設置を決定(平成25年度に設置)
- ② 地域教育文化学部・・・教員養成機能の高度化及び学部全体の教育内容の充実のため、3学科9コースから1学科 8コース制への改組を実施
- ③ 医学部・・・「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」により、「東北未来がん医療学講座」を設置



## 2. 業務運営・財務内容等の状況

### 1 業務運営の改善及び効率化

#### (4) 男女共同参画推進の取組

- ① 研究継続支援員の配置  
…延べ22人の女性研究者に延べ29人の研究継続支援員を配置し、研究活動を支援
- ② 託児サポーター制度の整備  
…○29人の幼児に対し、計29回、163時間の託児を実施  
○託児サポーターに40人が登録
- ③ 学会出張時の保育支援制度(託児やベビーシッター経費の一部支援)の開始  
…5人が利用



託児サポーター制度による託児の様子

#### (5) 機能的な事務組織体制の整備

- ① 業務の効率化に向けた取組  
…調達業務や共通様式の見直し、取扱いの統一、手続きの簡素化等を実施

## 2. 業務運営・財務内容等の状況

### 2 財務内容の改善

#### (1) 自己収入の増加

- ① 競争的外部資金獲得のための支援
  - …○科学研究費補助金ステップアップ支援制度で5人を支援
  - 科学研究費補助金に関する若手教員研究助成制度で25人を支援
  - 新任教員のスタートアップ支援制度で7人を支援
  - 大型の競争的資金獲得のための支援制度で1人を支援
  - 科学研究費補助金研究計画調書の作成に関するアドバイザー制度で各学部にアドバイザーを配置
  - 外部資金により獲得した間接経費の額による研究推進報奨制度で121人に報奨金を授与

#### (2) 経費の抑制

- ① コスト削減の取組
  - …「山形大学における経費抑制に関する行動計画」に基づき、コスト削減に関する取組を実施
- ② 調達業務見直しのための取組
  - …○業務フロー見直しの上、納品検査確認による支払いシステムの構築、請求書徴取の廃止
  - 公開見積競争における競争性確保のために競争参加者の対象を拡大

#### (3) 適切な資産の運用・管理

- ① 保有資金の管理・運用
  - …保有資金を適正に管理するとともに、事業資金、余裕資金を積極的・計画的に運用



## 2. 業務運営・財務内容等の状況

### 3 自己点検・評価及び情報の提供

#### (1) 評価の充実と効率化

- ① 組織評価(部局年度業績評価)の点検・見直し
  - …○評価対象部局を8部局に拡大(基盤教育院を追加)
  - 実施時期を10月から6月に変更(インセンティブ経費の配分効果を高めるため)
- ② 部局における外部評価の実施
  - …地域教育文化学部、基盤教育院で実施
- ③ 大学情報データベースの充実
  - …各教員の担当授業科目を平成16年度まで遡って登録



組織評価の様子

#### (2) 情報発信・情報公開の促進

- ① 英語版ホームページの全面的リニューアル
  - …国際的な情報発信のためのコンテンツ整理、デザイン見直しを実施
- ② 大学情報の発信
  - …○学長定例記者会見(月2回)
  - 各種イベントの開催等による情報発信(「情報ひろばラウンジフォーラム」等)

## 2. 業務運営・財務内容等の状況

### 4 施設設備の充実、安全管理の推進

#### (1) 施設設備の整備

- ① キャンパス配置計画立案の推進  
…各キャンパスのゾーニングや施設の経年老朽化状況等の基本的な課題を提示

#### (2) 安全管理の体制整備

- ① 防災体制・危機管理体制の充実・強化  
…○避難所としての機能整備の推進(小白川キャンパス及び附属学校)  
○国、山形県、山形市との共同による国民保護実動訓練の実施(医学部)
- ② 事務用シンククライアントシステムの安定運用開始  
…パソコンセキュリティを強化し、盗難等による情報流出の危険を最小限に抑制

#### (3) 法令遵守

- ① 大学内諸規則の一元的管理の推進  
…諸規則の点検整備及び改善を実施